

チーム豊成の力を高め、「潤いと勢い」のある学校づくり

Connect

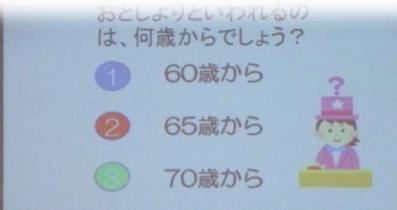


帯広市立豊成小学校 キャリアプロジェクト通信

令和6年7月19日
NO.6 文責 菊谷

キャリア

地域の大人とともに考える～認知症サポーター講座～



自己理解・自己管理能力（主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、今後の成長のために進んで学ぼうとする力）の育成を目指します。

6月24日（月）「地域包括支援センター帯広けいせい苑」より、4名の講師の方々に来ていただき、5年生を対象とした「認知症サポーター小学生養成講座」が行われました。けいせい苑は、豊成区域にある施設で、昨年4年生で学習した「豊成ステキ発見」での見学場所予定の1つでした。

この講座では、①認知症ってどんな病気？②認知症の人との接し方③まわりの人、一人一人を大切にしようの大きく3つの内容で進められました。

介護支援専門員の西田さんから、認知症は85歳以上の4人に1人がかかる脳の病気であることを聞き、とても驚いた様子でした。身近な家族や近所の人々が認知症と診断されたとき、私たちにできることは何かを考えました。

- ほ うっておかない
- う わっとおどろかせない
- せ かさず、ゆっくり話を聞く
- い つもどおりの笑顔で
- っ
- こ えをかけよう

認知症の人を応援できるサポーターとして“ゆっくり目線をあわせて笑顔で話す”“大丈夫だよと言って一緒に手伝ってあげる”ことが大切です。もちろん病気の人だけではなく、誰かが困っていたら言葉を掛けたり、自分だったらどんなことができるか考えたりすることができた1時間



でした。みんなが安心して生活するために、一人一人を大切にできる人って素敵ですね。

.....児童の振り返り.....

- これからお年寄りが増えるので、みんなが笑顔で過ごせる帯広市になるように力になれることがあればやっていきたいです。
- これからもお年寄りや認知症の人と話すとき、優しく、同じ目線で、そして今日教えてもらった3つの「ない」と尊敬の気持ちを大切にしたいです。
- 認知症は脳の病気だと知りました。認知症の人がいたら、不安な気持ちにさせないようにします。